

今週の富大生

Weekly TOMIDAISEI

第40号

都市デザイン学部
都市・交通デザイン学科
2年
桐朋高等学校
(東京都)



引っ越しをきっかけに貨物列車のとりこに

幼い頃は横浜の青葉区に住んでいて、東急田園都市線を見て育ちました。東京都の八王子に引っ越すと、交通の要所であるJR八王子駅には石油のターミナルや貨物駅もあり、珍しい機関車がたくさんありました。それから貨物列車のとりこになり、調べていくうちに電車全般が好きになりました。

自分で始めたジオラマづくり

鉄道が好きになり、ミニチュアの電車を走らせるジオラマに興味を持ちました。市販品のジオラマはとても高価なので、「買えないなら自分で作ればいいじゃないか」と思い、プラスティック板と模型の入門書を購入し、自分で作るようになりました。

鉄道が走る理想の街をイメージして、頭の中に描いたその風景を自分で作ることに楽しさを覚えるようになりました。高校の鉄道研究部では毎年文化祭で教室を周回するジオラマを作りました。

富山の電車が走る景色に魅せられて

高校の修学旅行は、東京から京都に行くにあたり、自由にルートを決めていいというものでした。せっかくなので、「立山黒部アルペンルートを通っていこう！」と決めました。

松本まで行き、松本からバスで大町に行き、アルペンルートを通って富山駅まで行きました。富山から金沢へ出て、サンダーバードで京都入りしました（笑）

その時に富山地方鉄道のレトロな列車と山々の風景を見て、「こんな景色があるのか！」と感動し、富山の大学に行くと決意しました。

富山大学について調べ、工学部と都市デザイン学部を検討しました。都市デザイン学部に都市・交通デザイン学科があるということを知り受験し、進学を決めました。

大学祭きっかけにとみてつの活動を拡充

富山大学鉄道研究会（とみてつ）に入部し、1年目の大学祭でスペースが余っていると聞き、現部長に「一緒に展示、やらない？」と僕から誘いました。

模型、鉄道部品や時刻表などを並べ、それぞれに解説を付けたブチ鉄道博物館のようなものです。

幼い頃からやってきたことを、また大学生になんでも続けていくことになりました。活動が広がる中で、現部長が事務や広報、僕が制作という感じに役割分担し、今のとみてつの体制が出来上がりりました。

鉄道を中心としたまちづくりを提案

大学卒業後は、僕自身が全国各地の鉄道に乗ってきた体験（北は俱知安、南は熊本）と、鉄研で感じた「誰かと一緒に鉄道について考える」楽しさを生かしたいと考えています。鉄道会社の立場から、公共交通が中心のまちづくりを提案したいです。



お世話になった高校の先生へ

僕の夢を大切にしてくださった先生、お元気でしょうか。大学でも鉄道研究会に所属し、同じ趣味を持つ仲間とともに、高校ではできなかったことにも挑戦しています！